

アローチャート(ARROW CHART)

ケアマネジャーの思考を
可視化するためのメソッドとして、

アローチャートは生まれました。アローチャートとは、
収集された情報を、ケアプランに落とし込むまでのケアマネジャーの思考の足取りを、○(丸)
や□(四角)、→(矢印)などの簡単な記号を使って図式化したものです。このチャートを使
うことにより、利用者やケアチームのメンバーに分かりやすく説明ができ、ケアマネジャーが
本来担うべき”専門性”が目に見える形になります。様々な課題、絡み、原因、背景をたどり
…そして課題の根っこ(本質)を明らかにする。アローチャートがあなたの思考の整理をサポ
ートします。



「アローチャートでケ
アマネジメント」

著者 吉島 豊録 /
環境新聞社発行

アローチャートの基本的な考え方

図形の説明 (※図1)

アローチャートで使用する図形は二種類です。
客観的事実は、キーワードを丸や楕円形で囲みます。
主観的事実は、長方形で囲みます。
図形で囲む言葉は、キーワードで構いません。
長い文章を書く必要はありません。

アローチャートは、描いた人が説明をするツールであり、必ず補足説明されながら
見せられていく図となります。

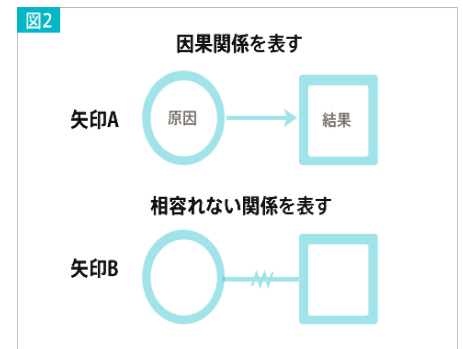


線の説明 (※図2)

二種類の図形によって仕分けされた情報を、線記号で
繋ぎます。図形を繋ぐ時には、それぞれの関係性を検討
しながら繋いでいきます。

A) 因果関係は、「矢印」で表現します。

○→○ や ○→□ と描くと、
左側の図形が「原因」、右側の図形が「結果」
という因果関係を表現したことになります。



B) 相容れない関係は、「直線上にギザギザ」で表現します。

アローチャートは、この4種類のシンプルな図形・記号を駆使して、思考を整理し、
利用者の全体像を捉えようとする表現(説明)方法です。